

令和4年度第2回御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時：令和4年7月26日（火）

午後2時から4時30分

場所：御宿町役場大会議室

（事務局）

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日の流れでございますが、この後、バスにて前回の会議でお示しさせていただきました候補地4箇所を順番に見ていただきます。その後、こちらに戻りまして、意見交換等をさせていただければと思います。

お手元の資料をお持ちくださり、バスへご移動をお願いいたします。

～施設見学終了後 大会議室にて～

（事務局）

委員の皆様、お疲れ様でございました。それでは、改めまして御宿町教育施設検討委員会を開催させていただきます。

三上委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（委員長）

本日は、御宿町教育施設検討委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本日は、6月に開催されました教育施設検討委員会において、委員の皆様からご提案いただき、候補地の視察ということで、現地を見ていただきました。本日の会議は、こちらのご意見等の協議が中心となってまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございました。

続いて、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）

本日は、お忙しい中教育施設検討委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。

先月、令和4年度初めてとなります御宿小学校更新にかかる施設検討委員会を開催し、委員の皆様から貴重なご意見をいただいたところであり、本日は、先日事務局からお示しさせていただきました、4箇所の更新場所の候補地の視察をしていただいたところでございます。

先日もお話しさせていただきましたとおり、令和4年度においては、更新場所の決定を目標に進めていくわけでございますが、引き続き、委員の皆様のご意見を頂戴しながら、私どもといたし

ましては、次のステップといたしまして、候補地をある程度選定した形で、町民の皆様へのご説明へとつなげていきたいと考えております。小学校の更新にあたりましては、保護者の皆様をはじめとした、多くの町民の皆様のご意見、ご意向を反映していくことが必要であると改めて感じているところでございます。

本日は、実際に現地を見ていただいた率直な感想等を含めまして、忌憚のないご意見を頂戴できたらと考えております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

それでは、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となりますので、三上委員長議事進行をお願いいたします。

(委員長)

それではよろしくお願ひいたします。では、議事の内容に入りたいと思います。

議題2 候補地に関する意見集約について

今、4箇所の候補地について現地を見ていただいたところではありますが、委員の皆様からご意見ありますでしょうか。

御宿小学校、中学校、それからB&Gそれぞれに意見を伺いたいと思います。

最初に、御宿小学校について皆さんの意見ございますか。

(新島委員)

6月に行いました保護者の皆様の学校評価の中に、非常に津波が心配されているので、早く候補地を挙げて検討して欲しいというような意見を、実際に何人かの保護者の方からいただいておりますので、そういうことを考えますと、町の中心にある御宿小学校としてはとても候補地としてはよい場所だと思うんですけども、ただ津波に関しては一番危険な場所であるということで、御宿小学校を候補に挙げるということは、保護者の皆様のご意向を鑑みても避けたほうがいいかなというふうに思っております。

(委員長)

御宿小学校について他にございますでしょうか。

御宿小学校は、海拔も低いし、それから裏に川が通っています。そういうことを考えると、津波という非常に心配なところがあるということは確かだと思います。

続いて、御宿中学校についてご意見ありましたらお願ひしたいと思います。

中学校は、皆さんの滞在時間が一番長かったような気がしましたが、色んなところを見ていただいて、ご意見あるかと思うのですがよろしくお願ひいたします。いかがでしょうか。

(鶴岡委員)

御宿中学校は、とても総面積が広くていいなと思った場所でまた学童が近い場所に中学校があるので、学童を利用しているご父兄の方から見ると、いいのかなっていうところがありました。海

抜も今現状の、小学校と比べて高い位置にあるので、候補地としてもいいのかなと思ひまして、あと三番目に見た B&G のところですね。ちょっと総面積を比べてだいが狭くなるんですけども、高さ的に中学校とも同じくらいなのかなということで、この2つがいいのかなと私は個人的に思ひました。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。そうですね。面積が広い、海拔も小学校に比べて、高いということになる。立地条件としてはそういうふうな条件になるかと思ひます。

他にご意見ありますでしょうか。

(北村委員)

議会の北村でございます。中学校に関しては、やはり一定の周囲からも中学校いいんじゃない。という声は届いていまして、小中一貫みたいなキーワードが聞こえてくるようなこともあるので、そういったメリットはあるかなと思ひましたし、あと今お話あった学童が近いっていうのもかなりメリットになるかなと思ひました。私としては改めて現地を見てみて、敷地としては、確かにそんなに狭さを感じない。特に校庭はとても広いので、広々とした印象はあったものの、一方でやはりこう中学校ありきで建てられていて、そこにうまくやりくりして、どこかの空きスペースに工夫して校舎を建てるというところで、何箇所か、ここかもしれないねということで、今日拝見しましたけれども、どうしても、例えば3階建てにしたり、ちょっと窮屈で後付感みたいなものは否めないのかなと。そういう意味でちょっとその小中一貫とか別のメリットとトータルで評価しないといけないのかなと。敷地だけを考えると、少し私としては、ちょっとマイナスイメージで今日はまいりました。以上です。

(委員長)

敷地だけで測れないところがあるんじゃないかと言うところですね。もともと、中学校として建設されている校舎というところで、その辺小学校にこの先どうなるか分からないですけども、施設の共有ということになると、その辺も考えなきゃいけないんじゃないかということもあるかと思ひます。他にございますでしょうか。

(浅野委員)

すみません。浅野です。今、北村委員のご意見と似てるんですけども、やはり何箇所か中学校の敷地の中で候補地を見させて頂きましたが、どこも窮屈な感じで、無理やり、小学校の校舎を押し込むみたいな感じがしなくもない。子どもが利用するにあたって、伸びやかに子どもたちの成長を育むするには、窮屈な感じかなというふうに思ひました。それと部活動も併せて考えた場合に施設の共用っていうところで、若干の無理が出てこないのかなという懸念が生じました。

(委員長)

よろしいですか。はい、ありがとうございます。他にございますか。

中学校の敷地ですが、メリット、それからデメリットいずれも出ておりますが、先に進めさせていただいて、後からトータルでお話があればと思っています。

続いてB&Gですが、いかがでしょうか。

先ほどのご意見の中に広さ的には十分なんじゃないか、また、標高、高さですか中学校とほぼほぼ同じなんで津波の心配はないんじゃないかなというようなご意見もありましたけれども、他にございますか。よろしいですか。

(委員) 意見なし

(委員長)

続いて、布施小学校の方はいかがでしょうか。

布施小学校を見ると、あの外から見ると非常に校舎も綺麗に見えたりするんですけど、中はやはり40何年ですか。それなりのところは見られるかと思います。グラウンド、その他、遊具があるところも含めるとだいぶ広いということも考えられるんですが、皆さんの印象で構いませんので、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(埋田委員)

母親としての立場だったら、布施小に通ったら津波が起ころうが何が起ころうが、安心して時間に余裕持って、例えば迎えに行くことができるんじゃないかなと。今の御宿小の場所だとか、山の上じゃないところになった時に多分すごい勢いで皆さんが集まって交通の方も混乱するだろうし、もちろん子どもも不安だろうし、あの人達まだ来てないのかなっちゃうんじゃないかなっていうことを布施小だったら一切そういう心配なく子どもを預けていられる。お仕事だって、近くの親御さんばかりじゃないと思うので、そういう面では安心。命の安心はここが一番だと感じました。以上です。

(委員長)

高いところにありますのでね。そういうメリットは、十分に考えられますよね。他にございますか。

(北村委員)

私は、当初から布施小がいいかなと思っていたんですけども、改めて今日他も見てみてやはり一番いいかなと個人的には思っておりますので、この地元「里山」の新学校づくり、御宿小学校の建て替えということはどう捉えるかなんですけれども、私としては、今まで使ってた候補地が使えなくなる、建て替えが必要だから建て替えるという単純な置き換えというだけにしてしまっただけではもったいないなど。御宿のこれからを考えた時に、町の活性化とか、あるいはこの子どもたちがどんどん減っていってしまう中で、その少子化の進行を食い止めるかみたいな事の起爆剤というか、特効薬というか、そういった少し攻めの気持ちを持って取り組めたらいいなというふうに思っています。そういう意味で、この布施小の場所に新しい校舎を建ててということを考えてと

きに、里山の自然を生かした、新しい学校がここにできて、そこが御宿町のひとつの大きな売りになって、この学校があるから引っ越して、この御宿に住みたいとか、あるいはもともと御宿育ちだけれども、一旦は都市部に出られて子育てをしていた方々が、コロナでリモートみたいな、こういうご時勢ですので、いい学校もできたことだし、ふる里御宿に戻って子育てしてみようかなと思うような、そういうきっかけになるような学校を、今からいい機会なので、そこを狙ってそういうコンセプトで新しい学校を作るといような事にチャレンジできたらいいなという気持ちが元々あります。そうした時にやっぱりこの布施小という場所で、周辺にも遊び場にできるような素敵な裏山があり、田んぼ、畑いろんな自然体験ができるような環境が周りにいくらかも広がっている、あるいは地域の協力も元々布施小というのは、地域に愛されて周りの人たちはとても協力的な方たちばかりで、そんなことも含めて新しい小学校を持ってきた後ですね、その御宿の里山里海の自然を前面に売りとしてPRしながら、地元の子どもたちも誇りを持てる、あるいは外からまた新しい子どもたちを呼び込むということも期待できるような、新しい学校づくりに、みんなチャレンジできたらいいなというふうに改めて思いました。以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。他に布施小学校についてございますか。よろしいですか。そうしますとB&Gについては、ご意見がなかったということは、これは協議の選定場所という視点から考えて外してもよろしいですか。よろしければそうさせていただいて、御小、御中、布施小というところで話を進めていきたいんですが、今日の大きなねらいはその選定場所のどこにどう建てるかではなくて、少なくともここがいいだろうというところをなるべくこの委員会で決めていただければと思っているんですが、決められなければ仕方ないんですけども、皆さんのご意見を十分聞いた上で進めていきたいと思っておりますので、何名かのお話くださったみなさんのご意見だけで決めるということではないのかなと思うので、ぜひ自分の思っていることを話しして頂ければ助かります。それでは、B&Gを除いて、御宿小、御宿中、布施小その3つの候補地について、どれでも結構ですので自分の思いを伝えて頂ければなというふうに思っていますが、いかがでしょうか。

(吉田和委員)

御宿小と御宿中のところと布施小と話だったんですけど、最初、御宿小の先生がやはり津波の心配があるとか、川が近いという事があるのであれば、自分も御宿小は外した方がいいんじゃないかと思えます。そうした中で、御宿中と布施小とあると思うんですけど、これから子どもの数も少なくなってくる中で、中学生の交流とか考えた中で、そういうのもすごい大事だと思うので、御宿中のところでいいと思えますし、面積もある程度取れるということがあります。あと、学童が近いというので、ある程度、そういう施設というのは同じところに集約したほうがいいということがあると思えます。あともう一つ布施小が悪いということではないんですけど、今実際に自分は布施小の保護者で奉仕活動をやっています。あれだけの面積があります。子どもがどんどん少なくなってくる中であの面積を維持していくことになると思うのでどうしても親の負担も増えてきます。そういった中で結構大変だと思うんですね。実際には、布施小は子どもがもう少なくなってるん

だけど、親が結構出ることがあります。その度に草刈とかなんかあると思います。みんな家庭とか仕事とか持っているので、子どものことを考えればそんなことないのかもしれないですけど、ただ理想だけを考えるのではなくて、そういう事も考えた中で、やはり御宿小学校と中学校が同じところにあって、そういう負担もみんなでカバーできるところが一番いいと思います。自分の意見は以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。その他、ご意見ございますか。
よろしいですか。

(委員) 意見なし

(委員長)

今お話ありましたけれども、B&Gについてご意見がなかったということで、省かせていただいたんですが、御宿小についてですね。先ほど、新島校長の方から保護者の津波に対する心配が非常にあるということでお話しなさっていたんですが、御宿小の現在の場所に建てるということについても、B&G同様に省かせてもらってもよろしいですか。

(委員) 意見なし

(委員長)

それでは、2つに絞ってみたいと思います。御宿中、布施小2箇所絞ってお話を進めさせていただきたいと思います。

他にご意見あればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(立野委員)

この場で私は、やはり御宿小は津波の関係で省こうかなという思いで、今、御宿中と布施小で両方ともちょっとどうしたらいいのかなという悩みで悩んでいます。ここの場で2つを1つにしているのかというのも思っています。というのは、実際に布施小、御宿小の保護者もいますので、この人たちの意見も聞かずに2つを1つにしているのかなと思っています。5箇所とか4箇所ある時点で、保護者に聞いてもそれは分かれてしまうと思うんですけど、御宿中と布施小である程度考えておりますという形で保護者に聞かなくてもいいのかなと。保護者から色々な意見が出てくるかもしれませんが、保護者も無しにしてこの場だけでぱっと決めてしまうと、後々なんで私たちの意見を聞いてくれないのよというのが出てくるんじゃないかなと。実際、本当に布施小もいいところで御宿中もいいところ。すごい悩みどころではあるんですけど、それを1箇所に決めてここになりましたからというのを保護者に説明してしまっているのかなというのがちょっと気にかかっています。

(委員長)

はい、その通りだと思います。先ほど申し上げましたように、皆さんのご意見いっぱい聞いて、それでその中で集約できるというところがあれば、それがいいんだろうかと思うんですけども、それぞれの良さとか、それからデメリットとか、そういうのが含まれてきてますよね。話を聞くと、そうすればその1本ではなく少なくとも2本、2本だけに候補地に絞っていくと。それだけでもこの現地調査したかいがあったと思うし、今も立野委員がおっしゃったように、それぞれの方が思ったことをここでお話していただかないといけないと思うので、それぞれが代表で出ておるわけですから、学校代表、それから保護者の代表さん、それから町の代表さんとか出てるわけですから、やはりお話いただいて、それでこういう話が出て、こういう良い面悪い面というか、課題がありますよ。みたいなことは表に出して、それでご判断いただく材料にしていければいいというふうに思っています。その辺でまだ声が聞こえてない吉野委員、いかがですか。

(吉野委員)

観点はいくつかあって、自分が話そうと思ったのは、安全面を考えればきっと布施小でしょうと思っていましたけど、この先のことを考えればというところと、土地のこと、それから中学生、高校生の今後の御宿町のことを考えれば、小中一貫という考えの方が良いんだろうというところと、それから中学校のところいくつか候補地として挙げられそうな土地がいくつかあるので、そこにうまく建つことができ活用ができるのであればそれもひとつなんだろうと言うところで、あとはどのようににしていけるのかというところが一つ。もう一つは、どちらの校舎にしても一つになれば、きっと交通量が若干なり増えますから、周辺の道のところを少し整理しないといけないかなというところは感じてはいます。送り迎えもかなり厳しくなるんでしょうし、というところもあります。デメリットがないわけではないと思います。ここら辺の近隣もだいぶ小中一貫校をやっているところを視察にいかせて頂いて、良いところも悪いところも多少なりとも感じてはいるつもりではいますけれども、だんだんこの市町も子どもの数が減ってきていますし、その子たちをどうやって学ばせていくのかっていう観点からいくと、早くからそういう縦の交流をもったり、人と人との交流だったりというところが、これから一つのキーワードになっていくのかな、なんていうところも踏まえると小中一貫というところが一つのスタンダードの考え方になっていくのかなという考え方では少し傾いてますけど、そこらへんはちょっとわからないですけど。あとは地域の方がどういうふうに判断するのかっていうのは、また、北村委員がおっしゃったような意見というところで、最後は反映させていけたらいい方向に収まっていくんじゃないのかなと思っています。

(委員長)

ありがとうございます。学校現場として扱っているその視点から、これから教育現場として、子ども達にこういう力をつけていくことが必要じゃないかっていうところで、お話しをされたんではないかというふうに、私は思って理解したんですが、先ほど言いましたように、それぞれの立場の方がいらっしゃいますので、それぞれの意見をここで述べていただいて、それで事務局の方ではそれをしっかりまとめて、こういう意見ありました。また、こういう意見もありましたって

うところをちゃんと把握していただくということが今大事なかなというふうに思っています。

他に、吉田誠委員お願いできますか。

(吉田誠委員)

中学校の吉田でございます。中学校か布施小かという話なので、ちょっと中学校の考え方といえますか、校舎はどこかに建つのかなというふうに考えてるんですけども、一番心配しているのは、小中一貫校として一つの学校で小学部、中学部やっていると、もうあるのでどうにかやっていると、やはり小学校基本は45分授業で、中学校は50分なんですね。その5分の時間が、例えば一緒にいけば、中学校の先生が小学校の子を教えていけたりしていいよねというのはあると思うんですけど、私は今は考えられない。先生に5分しか休み時間あげなくて、次小学校いってください。あるいは休み時間なしですぐいってこれというようなことはできなかったりするのかな、できるのかわからない部分があります。それから、共有部分なんですけれども、仮に御宿小の校舎が建ったときに、中学校の職員室は、中学校の先生でいっぱいですから、小学校の職員室を別に作る、それから校舎の方も6学級までは耐えられるんですけども、今4学級で小学校がはいると最低でも6学級が必要ですし、そうすると子供たちの校舎を作らなければならないことと、理科室とか2教室あるので、その辺のところは、平気だと思うんですけど、家庭科室もあって被服室、調理室2つもあるんですけども、1週間に1回使うのか使わないのかで、小学校も入れると思うのですが、体育館とか中学校、小学校と一緒にすると毎時間のように使って、中学校が時間代わりたいといっても小学校がそことってますよとそういうことも考えられています。マイナス面ばかりなんですけれども、一緒に生活していることはとてもいいことなのかなというふうには思います。6年生がそのまま大きな段差を経ずに中学生になればいいかなと思います。

布施小なんですけれども、ちょっと今日見た段階では、あそこに御宿小の子が全部いっちゃうと狭いと感じます。今の段階でも狭いのかな。最低でも100メートルの直線は取りたいなというのがあって、先ほど将来的なことを考えたときの夢を考えたときに、その小ささでいいのかもちょっとまわりの土地を買収してくれるようなこともあるのかということも一歩踏み込んでくれないと、校舎壊して校舎建てました、でも校庭はあのままで遊具のあるところまで広げたとしても、やはり御宿小の今のグラウンドよりも狭いということを感じました。また思いついたら言いますが、今日見てきた感じはそういう感じを受けました。以上です。

(委員長)

より具体的にお話がでたので、小中一貫校というワードがでましたけれども、実際建設ということになればやはり先進校なんかもあるので、大いに参考にできるのかなというふうに思います。あとは、いろんな面から考えていかななくてはならないというのが以上につらいところで、立地もそうだろうし、周りの環境もそうだろうし、子どもたちにとってのベストが何かということももちろん考えなくてははいけないし、通学路を考えなくてははいけないし、予算を考えなくてははいけないし、いろんなところから考えていかななくてははいけないというのが非常に難しいところだと思います。だからみなさんがおっしゃったように、ここで今1つに絞るのは難しい。せめて2つに絞れたことだけでもそれでも良かったのかなというふうに思いますが、まだまだ何かありまし

たら言ってください。

(新島委員)

私は、中学校の敷地でどういうふうに建てるのかなというのが分からないので、中学校の敷地に建てるというところに傾かないんです。中学校にすると決めといて、あれ、こんな建て方だったのってという話になるんじゃないのかなというのが一番心配で、小学生には遊具が絶対必要なんです。基礎感覚を養うには、ブランコに乗るとかシーソーに乗るとか鉄棒のってとか、そういう遊具はやはり必須だと思っているので、どうやって中学校に遊具が建てられるのかなというのが一つと、あともものすごく今、子どもたちが多様化していて、個別でなければ学校に安心できる場がないというお子さんだっってこれからも増えてくるので、そうしたときに今、小学校は通常学級が6クラスの特別支援学級が3クラスの通級学級が1クラス。けど、もっと空間が必要で、子どもたちはそうじゃないと学校に来られないというお子さんは今後も増えてくるだろうなど。リモートで集団からは離れた場所で授業を受けるとか、そういうところからだんだん集団の中に入っていきようなお子さんとかというように考えた時に十分な教室というのがスペースというのが、私は必要だなというふうに思っています。中学校の敷地で小中一貫でできる良さというのはすごく子どもたちの関わり人数が減ってきてますから、やはり関わることによって学ぶこと、養われる心というのはとてもあると思うので、そこで建てる良さもあるんですけども、ただ先進校のところでの色んな情報も私たちが得た上で、じゃあどういう風に考えていったらいいのかなというように検討していくことが大切かなというふうに思っています。あの広さにどうやって校舎を建てて、どうやって子どもたちが昼休みや休み時間遊べるのかなというようにところが、私はイメージがまだつかめておりません。

(委員長)

近隣では、長南小が中学校の敷地に校舎が建っています。それでグラウンドは共有です。それから本納小も中学校の敷地に新しい校舎を作ってます。本納小は、遊具は小学生用の遊具が作ってあります。小学生が遊べるところで、小学生用の遊具が作ってある。ただ、敷地は、もともと、前の中学校敷地の中で小学生が遊べる場所を作っているというようにところもありますので、だから御宿中が良いとわけじゃないんですよ。そういうところもあるということで、その辺も全部含めて考えていかななくてはいけないところはたくさんあるんじゃないかなと。先ほど言ったように、予算面も含めて。そこが一番難しいところで、やるとなったら、その工夫はできないこともないんじゃないかと思ってます。それは表面的な部分かもわかりませんが、中に行っって聞いてみたりするのも必要なかなと。やるとなったらね。それ以上は私も言えないんですけども、そういうところもあるというところも一つ、お示ししたいと思いました。他にご意見があれば、今、新島委員も言ってるのは、子どもたちの成長というか、校長としての願いというか、そういうものを話してくださったということかと思いますが。他にございますか。

(北村委員)

立野委員から、この決め方というところも、お話出たと思うんですが、前回の会議でも、2つぐらいできれば絞って、予算が伴うことですけれども、もう少しコンサルじゃないですけど、皆さんから話してたようにリアルに想像できるようなプランみたいなものをプロに作って頂いて、それで比べるみたいなことができれば一番ありがたいかな。そこは少しお金かかってもやってもいいんじゃないかなという気は正直してます。そのぐらい大事なことなのかなという感じですね。それから、その小中一貫、布施小は少し手狭で、もし布施小であれば、買収なんかも検討というようなご意見もございました。私も実はそう思ってます、これはまた考え方ですけども、やはり御宿中を建てたときに、今この状況を一定イメージをして、先のことを考えていけば、御宿中の建て方も20年前ぐらいですかね、変わってたんじゃないかなとすれば、今、新しい校舎を建てるにあたって、目の前の人数だけじゃなくて、さらに10年20年後ぐらいをイメージして、すぐってわけにもいかないけど、ゆくゆくはその土地の買収で拡張して行くというようなことも視野に入れながら、あるいは小中一貫として拡張して行くみたいなことも視野に入れながら、プランを今立てていくということもできたら一番いいのかなって思う。ちょっと具体的に言っちゃうと、私は、今でも布施小がいい、布施小押しなので、布施小をまずは、新しい小学校としてスタートするけれども、20年後ぐらいを視野に入れてゆくゆくは土地も少し買収して拡張した上で、小中一貫も視野に入れながら、布施小とその地域周辺の放課後の居場所づくりも含めた子どもが育つ環境っていうのを、今からもうちょっとイメージしながら作っていく。その最初の一步を新校舎御宿小の建て替えということからスタートさせるみたいな、長期的なプランなんかもできたら考えられたらいいなというふうに思っています。それを踏まえて、例えば私は今布施小のプランですけど、御宿中に関してもそういった観点でプランっていうのを少し描いてみて、その2つを町の皆さんにもご提示できるなっていうのが、それは、本当に僕が口で言うほど簡単じゃないだろうなと思いますし、お金もかかるだろうなとも思うんですが、子供たちのことを考えると、そこまでやれたら一番ありがたいなというふうに思いました。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。もっと先を見てということも必要であります。未来を向けての建設というところも含めて考えたほうがいいんじゃないかというようなご意見だったと思います。どうでしょうか。まだ時間あると思います。

(立野委員)

先ほど皆さんからもいくつか出てたんですけど、車の駐車場が私はすごい心配なんです。今御宿小学校が雨になると、プールのところから体育館のところまで車がビッシリ待ってます。止められない車が公民館の前にも結構車停まってるんですね。それがもし布施小、中学校も建てる場所によってなんですけど、布施小だった場合に、その車が全部入っていくんですね。皆さん、集団下校とかで雨のとき順番に出てくると思うんですけど、それが一斉にあそこで待つということも考えていかないと、そこまでの駐車場も考えて、今後建設等に関わっていかないと、今、近くだったら歩いて行けばいいや、傘さして行けばいいやという人たちが、今度はさらに車で行くと思う。じゃあ、そこまでの敷地駐車場を確保して行かないとバスは出てたとしても乗用車で迎え

に行く人はかなりいますよね。小学校は、本当に子どもたちが帰るのが危ないというぐらい停まっているので、そこまで考えていかないと、今後布施小にいったとして、駐車場もロータリーっというような形で、車が停められるような所まで考えていかないと結構厳しいことになるのかなと思いますので、学校、教育、それ以外にも保護者の交通の便のこと、駐車場のこととかも全て計算していかないと難しいのかなと思っております。

(委員長)

はい、ありがとうございます。先ほど申し上げましたように、いろんな局面を考えていかなきゃいけないっていうところが非常に難しいところだと思います。おそらく100%ってわけにいかないと思いますが、できる限り100%に近い形でまとめていけたらなというふうに思っていますけれども、今回はその現地の視察に行って、皆さんのご意見を十分にいただくという機会にさせていただきたいと思っておりますので、何回も言ってますけれども、他にございますか。よろしいでしょうか。

(岡本委員)

岡本です。御宿中学校も布施小学校になっても、両方考えることだと思うんですけど、親御さんの送迎はおそらく今後スクールバスになるんじゃないかなと思って。猪口先生が、今度新しくスクールバスに、お金を出すっていう国の予算を取っているんで、御宿町は手を挙げればもらえる状況だと思うんです。今後は役場の申請の仕方だと思うんですけど、送迎っていう観点からいうと、どっちも親御さんが送迎しなくちゃいけなくなってくるだろうと思うんで、その観点で言うと、スクールバスを全部に配置しちゃって、お迎えとお帰りも全部バスが行くっていうスタイルでいくと、親御さんの送迎の手間とか、そういう危険性とかがなくなってくると思うんですね。うちは子どもが幼稚園の時にスクールバスで幼稚園通ってたんですけど、親が迎えに行くときは、幼稚園に電話して親が迎えに行きますからっていう予約を取って、幼稚園に行ってたんですけど、それ以外は全部バスっていう決まりがあったんで、そういう決まりも作って、そういう運営の仕方をすれば、送迎の混雑とかもなくなるし。イベント事がある所は駐車場必要だと思うね。その辺は買収かして、駐車場が必要だと思うので、それを平和にやってもらって。わたし、実際見て思ったんですけど、御宿小学校、御宿中学校よりはやっぱり布施小の方が、自然環境も良くて、さっきも言ってたんですけど、風が違うんですよね。涼しいというか、ベタベタさが無いというか、セミの声も聞き、そういう場所で子どもさんをお勉強させて育てていけたら、なんか心の豊かな子どもが育つんじゃないかなと。中学校の場合だとお兄さん、お姉さんの大きい子がいる所で小学生がいると、やっぱりちょっと衝突しちゃうこともあるだろうから、なんか殺伐としちゃうコンクリートジャングルの中にお子さんをお育てしていくのかなと思うと、ちょっと考える事あるかなと思って。どっちにするかは、今後、皆さんに本当にアンケートをとって決めていく方向に向かった方がいいんじゃないかなと思います。本当に決めかねないというか、皆さんの多数決で決めていくというのがいいんじゃないかなと思います。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。スクールバスというわけですね。これは当然布施小にしても御宿中にしても、スクールバスの必要があると思いますけどね。その辺の通学手段ですけども、これから考えなきゃいけないということになります。駐車場もそうだし、通学手段ですよ。そういう面も含めて、一筋縄ではいかないという感じで、たくさんのことを考えていかなきゃいけないということになるかと思えますね。

(新島委員)

北村委員からお話ありましたように、10年後、20年後を見据えるってすごく大事なことだなというふうに思います。やはり長期的にビジョンを持っていった時に、町としてどんな子どもたちを育てたいのかなというところをそこも論議しなければいけない点かなというのをお話聞いていてとても思いました。こういう子を育てたいから、この場所が良いんですよということは、とても説得力があると思いますし、子どもを育てるのは町だと思っていますから、そういうところは、私たちが共有することは必要なのかなというふうに今思いました。

(委員長)

令和4年度の町から出ている教育方針・指針が出ているので、そこには育てたい子どもの姿というのは入ってますよね。それで見れば、ある程度分かるかと思えます。でも、皆さんがそれを分かってないといけないということですね。それも含めて町としてどういう風な子ども達を育てていきたいかという教育観点も大きな一つであるかと思えます。他にございますか。

(委員) なし

それではよろしいでしょうか。うまくまとまらなかったんですが、皆さんのご意見をたくさん聞きたいなというふうに思っていましたので、少なくとも2箇所には絞りつつあるのかなというふうに思っています。それでは、3の今後の予定について事務局お願いいたします。

(事務局)

今、委員長が2箇所に絞っていただいたということで、最初に委員長の方からもお話しがあった通り、色々と委員の皆さんには今日感じていただいたと思います。ただ、事務局の方でこの候補地を選ぶにあたって、前回の会議の中でも御宿中学校と布施小学校が2つに絞られるであろうという部分ございましたので、その中で皆さんは環境とか、将来の教育像というお話がありましたので、別の面からも事務局の方は皆さんにアプローチというかお示しをして、その中でもうひと絞りしていただくとありがたいというところで予算面とかどういうふうに、ここだったらどういうふうに使っていくつもりなのかという部分を示させていただいて、それでもうひと意見いただければというところで、今回皆さんに見ていただいた中でさらに今度それを現実に作るにあたって、どれぐらいのお金がかかるとか、どういう風に使うとか、そういうところが事務局が事前に調べてある部分もございますので、それを事前にお示しして、また話し合いをして頂ければというところでよろしいでしょうか。

(委員長)

皆さん、よろしいですか。次回の内容についてお話しいただきましたけど、よろしいですか。

(教育課長)

次の日程的なものを事務局の方は調べてございますので、そんなに間をあげなくてもある程度の意見はお示しできるんですけど、お盆もありますし、9月頃でどうか。8月の終わりから、9月は議会があるので、できるだけ8月に収めたいんですけど、そのあたりでどうかなというところですよ。後1か月か1か月半後ぐらいですかね。議会前ぐらいに一回やればどうかなというところですよ。

(委員長)

8月の末ぐらいでよろしいですか。

(教育課長)

また通知を出しますので、8月の下旬から9月上旬ぐらいで開催できればと思います。

(委員長)

それでは、8月の末から9月頭に、次回開催する予定でよろしくお願ひします。なお、文書は後ほど届くそうですので、よろしくお願ひします。

事務局よろしいでしょうか。

(事務局) はい。

(委員長) それでは、よろしくお願ひします。

(事務局)

本日はありがとうございました。以上をもちまして、御宿町教育施設検討委員会を終了致します。長時間にわたりありがとうございました。